

2018年5月7日

朝礼の話 (2018年5月)

皆さんお早うございます。今年的大型連休は、全般に好天で絶好の行楽日和となり、全国各地の行楽地は国内外のたくさんの観光客で賑わいました。皆さんもそれぞれにゆっくりとお休みを過ごされたことと思います。先週土曜日が立夏であり、暦の上では夏の季節に入りました。これから朝晩ははまだ冷え込む日もありますが、日中の気温はどんどん上がっていきます。当社も今日からクールビズを開始しました。装いも夏向きとなり、気分を新たにして、仕事に取り組んでください。

先月28日(土)に、30名近い取引先の参加をいただき懇親ゴルフ会を開催しました。絶好のゴルフ日和で、皆さんそれぞれにプレーを楽しんで頂き、無事にゴルフ会を終えました。日頃お世話になっている取引先と懇親、交流を深めることができ、大変に有意義な会を催せました。社内参加の皆さんの協力にあらためて感謝します。来年もより多くの方々の参加を得て、より盛大な会にしていきたいと思っております。

今年的大型連休の間で最も印象に残ったスポーツイベントといえば、米大リーグのシアトル・マリナーズのイチロー選手が、今季は出場せず会長付特別補佐に就任したと同球団が発表したこととスウェーデンで行われた卓球の世界選手権団体戦での日本女子チームの活躍でした。イチローは、1992年、愛工大名電高からドラフト4位指名でオリックスに入団し、2000年までオリックスでの9シーズンで累計951試合出場、1,278安打、118本塁打、529打点、199盗塁、平均打率.353の素晴らしい記録を残しました。オリックス時代の恩師仰木監督の後押しで米大リーグ入りを果たし、01年より12年半ばまでマリナーズ、その後ヤンキース、マーリンズを経て、本年3月6年ぶりにマリナーズに復帰しました。04年、大リーグ年間最多安打記録(259安打)を84年ぶりに更新。10年、10年連続シーズン200安打を達成。16年、マーリンズで日米通算4,257安打としピート・ローズの持つ大リーグ記録を抜くなど数々の記録を打ち立てました。今回の異例の措置(契約)について、球団のディポトGMは「現役の扉は開いたままにしてある。最後はマリナーズで迎えてほしい」と話し、また「マリナーズは永遠にイチローとともにありたい」とまで言っています。球団の功労者であるイチローに対する最大限の誠意を形にしたものと思われまます。まだまだ元気な練習ぶりを見ていると来年も何かやってくれそうな気がしてきます。

日本女子卓球チームは準決勝まで無敗で勝ち上がり、47年ぶりの優勝を目指し王者中国チームに挑戦しましたが、1-3で敗れ3大会連続の銀メダルとなりました。準決勝第二試合でキャプテン石川佳純がキム・ソンイ(北朝鮮)を最終第5ゲームで3度のマッチポイントをしのぎ劇的な勝利を勝ち取った試合と決勝第一試合で伊藤美誠が劉詩雯(中国)に3-2で競り勝った試合は素晴らしい熱戦でありました。今回も悲願の金メダルには届きませんでしたが、中国との差は確実に縮まっています。石川と伊藤・平野の高校生コンビを中心にまだまだ強くなる可能性は十分にあります。来年の世界選手権個人戦、再来年の団体戦、そして東京五輪で何とか金メダルを取ってほしいと願っています。以上